

【テーマ6】 国立大学法人 岡山大学 「NPOとの連携に基づくファシリテーション力育成を目指した 教員養成・研修プログラム開発」

調査の概要

◆課題認識

・カリキュラム・マネジメントやアクティブラーニングの実施に向けた教員養成・研修が不十分。

・主体的な学習を支援する「学びの専門家」としての教員の資質・能力の育成が不十分。

◆調査研究の目的

・NPOと連携し、「学びの専門家」としての教員の力量形成の方法を解明。

・学校外実践を取り入れた教員養成法の解明

◆調査研究の方法

・教員養成カリキュラムの中に、NPOと連携した特別プログラムを挿入し、効果を検証する。

◆連携組織

- ・NPO法人だっぴ
- ・NPO法人岡山市子どもセンター
- ・NPO法人みらいずWorks
- ・NPO法人カタリバ
- ・岡山NPOセンター

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①指導者からファシリテーターへ

・知識の伝達者・学問研究の指導者としての教員から、学習の支援者・学びのファシリテーターとしての教員へ

②語りの達人から、語らせる達人へ

・蓄積した知識を子供の興味を引きつけるような方法で披露できる達人から、子供自身が学んだ知識を活用して自らの意見を述べるができるように支援できる達人へ

③学校と大学の往復から、地域社会に開かれた教員養成へ

・現場主義の神話を打破し、学校と大学の往復に限定された教員養成から、学校・大学・地域が一体となって進める地域社会に開かれた教員養成へ

④大学と現場の役割分担から、大学と学校の協働による教員養成へ

・理論は大学で、実践は教育現場でという分離主義から、地域社会という場で大学と学校の協働による教員養成へ

◆成果

・本学が取り組んできた教員養成コア・カリキュラムに、NPOと連携した教育プログラムを効果的に取り入れ、1年から4年までの体系的な「学びの専門家」養成プログラムのプランを構想

・岡山市はもちろんのこと、全国で活躍するNPOと協力関係を構築し、子供の学びや教員の養成・研修の改善に協働で取り組む体制を整えた

・学校とNPOなど学校外の機関が連携することで、学校という場に閉ざされない教育のあり方を教員を目指す学生に示した

今後の課題

◆学校・行政・大学・NPOの連携による地域社会に開かれた教員養成の一層の推進

- ・今回の大学とNPOとの連携を学校や行政にも拡大し、4者の連携した体制を整えること
- ・4者の共同による教員養成プログラムを開発・実践すること
- ・4者の連携によるプログラムの効果、特に教員を志す意欲の向上への効果を確認すること